

重点事項	評価内容	評価の観点		担当	評価	総合評価	分析・改善策等			
		評価方法	評価基準							
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの実現	生徒がわかる授業を行っている		教務・研究	・生徒アンケート ア+イ 国88% 社83% 数80% 理79% 英83% 音87% 美95% 技93% 家92% 保体95% 平均88% 判定B	B 前回A	生徒アンケートの結果は前回より下がった。基本的な事項をおさえる各種コンテストの取組や補充学習を充実させながら、その学年で定着させたいことを確実に定着させる。			
		根拠・理由をもとに自分の考えを書いている						・生徒アンケート ア+イ 87% 判定B	B 前回B	今年度の学校研究のテーマの1つである。3学期は、各教科で見方・考え方を生徒が意識できるような工夫をする取組を始めた。さらに効果的な活用の方法を考えていきたい。
		授業の中で学び合い活動をしている								
	学習規律の徹底	授業の約束3か条を守っている			・教師アンケート 指導実施 ア+イ 100% 判定A ・生徒アンケート 自己評価 ア+イ 90% 判定A	A 前回A	チェックファイルを活用し、個人や全体への声掛けを継続している。必要に応じて家庭と連携を図り、よりよい環境づくりに努める。また、3学期は生徒集会を通して、生徒会からも呼びかけをする取組をしていることが生徒の自己評価につながっていると思われる。			
		家庭学習の取組	家庭学習目標時間の達成率					・保護者アンケート ア+イ 35% 判定D	D 前回D	インターネットの利用時間と関連が深いと思われる。課題を工夫したり、課題の提出を確実にさせたりすることで家庭での学習習慣をつけさせたい。
家庭学習目標時間 1年70分 2年80分 3年90分										
豊かな心	楽しい学校	学校に楽しく通っている。		生徒指導	・生徒アンケート ア+イ 97% 判定A ・保護者アンケート ア+イ 89% 判定B	A 前回B	3学期からは生徒会による集会を始めた。生徒が主体的に活動できる場面を増やし、自分肯定感を高められるようにしていきたい。			
	清掃活動への取組	清掃にしっかり取り組んでいる						・生徒アンケート 自己評価 ア+イ 97% 判定A ・教師アンケート 指導実施 ア+イ 100% 判定A	A 前回A	2学期から日課を変更し、掃除の回数を減らしているが、生徒が時間いっぱいしっかり取り組めるように継続して指導している。生徒会の美化委員が中心となって呼びかけしていることが効果的であったと思われる。
	自治的・生徒発会的活動	委員会活動や係活動に意欲的に取り組んでいる								
	規範意識の向上	ヘルメットを着用している						・生徒アンケート ア+イ 98% 判定A ・保護者アンケート ア+イ 97% 判定A	A 前回A	家庭や学校内だけでなく、誰が見ていなくても社会のルールを守れるように、継続的に学校・家庭・地域が連携して指導していく。
学校との公開周知		各種おたよりやホームページを見ている		教頭	・保護者アンケート おたより ア+イ 67% 判定C ホームページ 31% 判定D	C 前回C	お便りは例年通り発行し、ホームページは更新頻度をあげた（2月16日現在で、「ブログ」記事を62件アップ）。保護者の知りたい情報（ニーズ）を把握し、おたよりやホームページ以外の配信を検討していく。			
信頼される学校	挨拶ができる	すすんで挨拶をしている						・生徒アンケート ア+イ 91% 判定A ・保護者アンケート ア+イ 80% 判定B	B 前回B	今年度は、部活動ごとに保護者と一緒にあいさつ運動を行うなど、工夫した指導ができた。生徒会とも連携しながら、あいさつができる校風を継続できるよう努める。
		時間外勤務が45時間以内になるように業務を工夫している								
働き方改革	教職員の働き方意識改革	ア 90%以上 イ 80%以上 ウ 50%以上 エ 50%未満 A…ア B…イ C…ウ D…エ								